

システム要件

バックアップサーバ:

- Microsoft Windows Server 2008 x64 以降
- ディスク空容量 100 GB / 8~16 GB RAM
- 最低 2.2 GHz の Dual Core CPU
- IIS を有効にしてください

VMware 環境:

- vSphere、vCenter、vCenter Server Appliance、ESX/ESXi バージョン: 4.x、5.0.x、5.1.x、5.5、5.5.1、5.5.2、5.5.3、6.0、6.0.1
- 最新バージョンの VMware ツール

Microsoft Hyper-V 環境:

- Microsoft Hyper-V Server 2012 R2
- ディスク空容量 100 GB / 16~24 GB RAM
- 最低 2.2 GHz の Dual Core CPU

ストレージ環境:

- ディスクまたは CSV (Cluster Shared Volume) ストレージ (運用環境のホスト ストレージから切り離されていること)

アドミニストレーション モジュールと必須ソフトウェアのインストール

1 台に VSP をインストールします(バックアップサーバ)。

Hyper-V の場合、バックアップサーバはスタンドアロンのサーバ(Windows Server 2012 R2 以降)もしくは Hyper-V クラスタのノードでも構いません。

インストール ペッケージを右クリックし、**管理者として実行**を選択します。このマシンに**パッケージをインストール**を選択し、ご使用のコンピューターにインストールもしくは、別のコンピューターにインストールする**パッケージをダウンロード**します。画面が表示されたら VSP 管理者のユーザ名とパスワードを入力してください。

クイックセットアップの実行

1. ウェブブラウザでシステム管理者から提供された URL を指定してください。例 : **https://webhost/vweb/**
2. ユーザ名とパスワードを入力し**ログイン**してください。初回ログイン時にクイックセットアップ画面が表示されます。
3. **製品登録**のページでは電子メールアドレスとパスワードを入力してください。
4. **電子メール設定ページ**では管理者の電子メールアカウント情報を入力してください。
5. **サーバ追加**のページでは、仮想ベンダーを選択しサーバ情報を入力します。
 - VMware の場合、vCenter か ESX サーバかを確認し、バックアップ・リストアの管理者権限が付与されているユーザ情報を提供します。
 - Hyper-V の場合、スタンドアロンサーバのホスト名か Hyper-V クラスタ名を入力し、Hyper-V のすべてのノードに対してバックアップ・リストアの管理者権限が付与されているユーザ情報を提供します。
6. Hyper-V の場合、バックアップサーバの Hyper-V の役割が有効になっていない、もしくはバックアップとリストア操作のために追加のプロキシ設定をする場合、以下のステップを実行します。
 - A) **ノード検索**をクリックしてください。
 - B) **ノードフィールド**を入力した時、プロキシとして使用する 1 つか複数の Hyper-V ノードを選択し**保存**をクリックします。
 - C) **サーバに移動**をクリックします。もしバックアップサーバ以外の Hyper-V ノードがプロキシとして選択された場合、これらのノードで追加のソフトウェアがインストールされます。サーバページでインストールの進捗状況を監視することが出来ます。
 - D) 追加のソフトウェアがインストールされている場合はインストールが完了するまでお待ちください。

そしてストレージを追加し、サーバエントリー配下に少数の仮想マシンを含んだコレクションを追加しバックアップを実行します。

7. VMware 環境の場合、ストレージの追加と一覧の作成は以下のステップを実行します。
 - A) **ストレージ追加**のページでは**ローカルディスク**か**ネットワークパス**を選択しストレージライブラリーの表示名を入力します。
 そしてすべての VM のバックアップをするのに十分な空き容量があるディスクライブラリーをフルパスで入力してください(評価目的では、ローカルフォルダーをご使用いただけます)。
 ネットワーク接続のストレージデバイスにアクセスするにはユーザの資格情報を入力します。保存をクリックします
 - B) **コレクション追加**のページではわかりやすい名前を入力し保護する仮想マシンを選択します。
 評価目的では、バックアップする仮想マシンを 1 台か 2 台選択します(最初のバックアップ後さらに仮想マシンを追加することが出来ます)。
 - C) 終了したら次のオプションから 1 つ選択してください。
 - ・**今すぐバックアップ**をクリックするとコレクションの仮想マシンのバックアップを即時実行します。
 - ・**後で実行する**をクリックして新しい設定を保存し**サーバ**のページに移動します。

バックアップの実行

1. 管理者コンソールからサーバに移動し、**サーバ**を選択します。
2. **コレクション**の下にあるコレクション名をクリックします。
3. **バックアップ**セクションでは**今すぐバックアップ**をクリックします。
4. **バックアップオプション**のダイアログボックスでは、バックアップ レベルを選択し**詳細リカバリの有効化**にチェックし **OK** をクリックしてください。

仮想マシンまたはファイルのリストア

1. 管理者コンソールからサーバに移動し、**サーバ**を選択します。
2. **コレクション**セクションで仮想マシンを含むコレクションの**リストア**をクリックします。
3. **リストアタイプ選択**のページではリストアのタイプを選択してください。
4. **リストア**ページでは、左側のツリーを展開し、右側にリストアするオブジェクトを選択し**リストア**をクリックしてください。
5. **リストアオプション**ダイアログボックスでは、必要な情報を入力します。

ご購入前の評価版の技術的サポートに関するお問い合わせ

無償評価版のインストールは、お客様自身で行えるよう設計されていますが、サポートが必要な場合は、次のフォームからお問い合わせください:

<http://www.commvault.co.jp/contact-presales/>

さらに詳しいマニュアルは、下記をご覧ください。

Virtual Server Protection (VSP) User Guide: http://documentation.commvault.com/commvault/v11/others/pdf/VSP_User_Guide_V11.pdf